

もくじ

1. まちのねずみといなかのねずみ 2
2. ワシとカラス16
3. うさぎとかめ28
4. 金のたまごを産むめんどり42
5. きつねとつる54
6. 神様のぞうをはこぶロバ70
7. おしゃれなカラス82
8. 仮病を使ったライオン98
9. 王様をほしがるカエル 115

まちのねずみ と いなかのねずみ

原作： イソップ寓話
イラスト： いなとめ まきこ
編集： YellowBirdProject

5

^{しょくじ} ^す
食事を済ませたねずみたちは、^{だんろ} ^{まえ}
暖炉の前でくつろいで
いました。

^{たの} ^{しょくじ}
「楽しい食事だったね。おいしかったかい？」

「おいしかったけど、^た
ぼくがいつも食べているもの
^{ほう}
方が、ずっとおいしいかな。なあ、どうだい。

たまには君が**^{きみ}**のお屋敷に遊びにきなよ。

^{まいにち} ^{あな} ^{なか}
毎日いなかの穴ぐらの中じゃ、つまらないだろう？」

「う～ん、どうしようかなあ・・・それじゃあ、
^{いちど} ^い
一度だけ行ってみようかな」

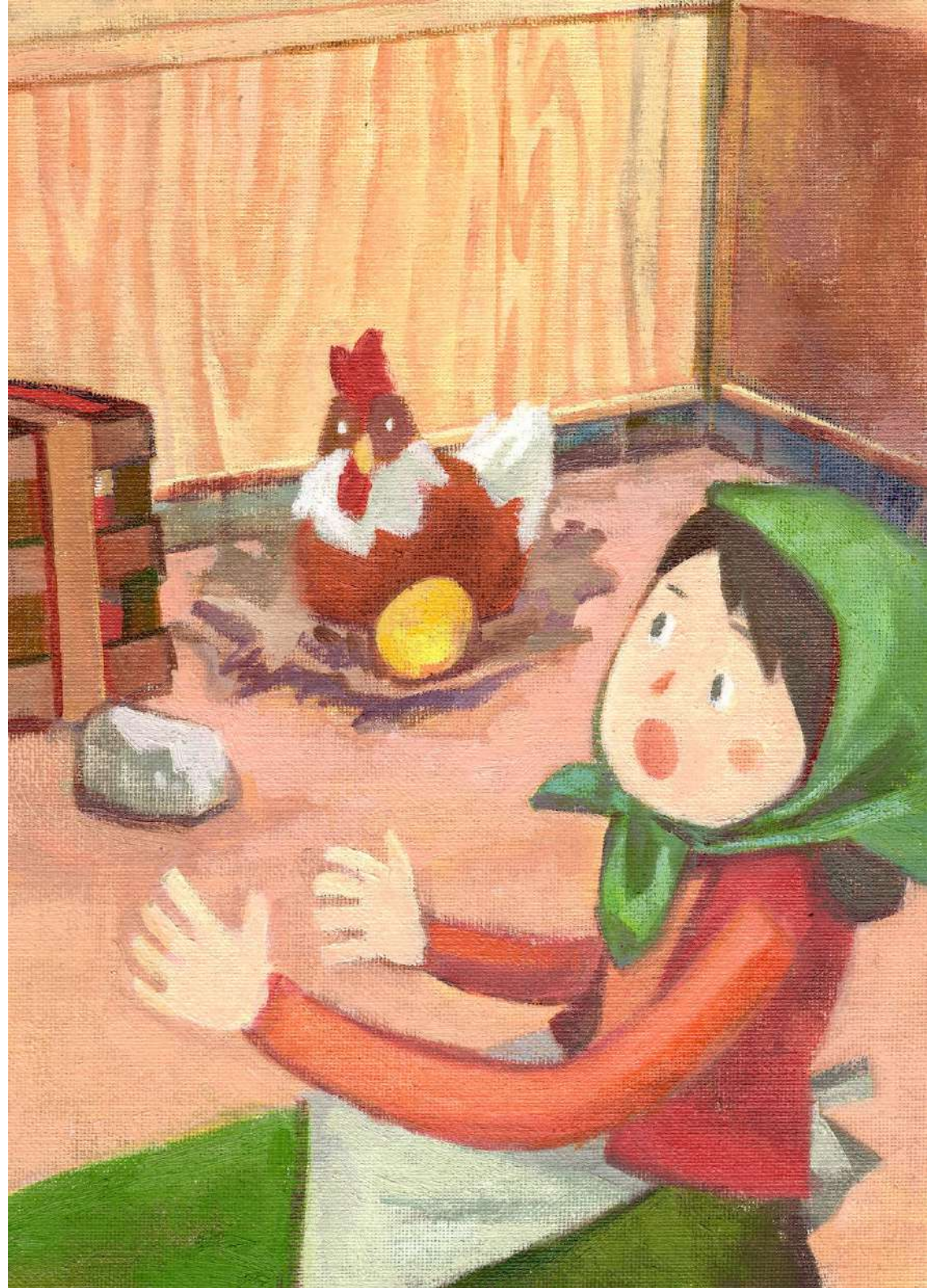
^{つぎ} ^ひ ^{あさはや} ^{にひき} ^{まち} ^{めざ} ^{しゅっぱつ}
次の日の朝早く、二匹は町を目指して出発しました。



むかしむかし、とある貧しい夫婦が、一羽のめんどりを
か
飼っていました。

ある朝、奥さんがいつものように、卵を取りに
ごや
にわとり小屋へいくと、なんとそこには、光りかがやく
ひか
『金の卵』が一つ転がっていました。

奥さんはその卵をつかんで、慌ててだんなさんの元へ
はし
走りました。



つぎ ひ すあな まえ いっぴき とお
次の日、ライオンの巣穴の前を、一匹のタヌキが通り
かかりました。

すると。

「う～ん、^{いた}痛い、^{いた}痛い・・・」

「おや、この^{こえ}声はライオンさんの^{こえ}声だ。
なにかあったのかな？」

タヌキは、ライオンの^{すあな}巣穴をのぞき^こ込みました。

「ライオンさん、どうかしたんですか？」

「ああ、どうやら^{むしば}虫歯ができてしまったようなんだ。もう
^{いた}痛くて^{いた}痛くて。なあタヌキや、少し^{すこ}口の中^{くち}を見て^{なか}くれな^みい
か」

「いいですよ。えっと、とくに^{わる}悪そうなところは
ありませんが・・・」

「もっと、もっと^{おく}奥だ！」

